

県仏通信

第1号

平成21年7月発行

発行者

新潟県仏教会長 加藤朝雄

新潟県事務局 西部正哉

県仏事務局

〒950-0847

新潟県新潟市秋葉区古瀬町五丁目

電話 0250-22-4136

FAX 0250-22-4133

印刷所 有限会社玉屋印刷所

新潟県仏教会の

会長が交代しました！

昭和六十一年から二十二年間、県仏会長を務めてくださった中村啓誠師が、去る平成二十年の十二月をもって勇退なさいました。十二月十五日に臨時の県仏理事会が開かれ、中村師の退任と加藤朝雄新県仏会長の就任が決定された次第です。

新会長は早速、会長職務遂行に駆け回ることになりましたが、年度途中のため、十二月三月の活動は旧会長の残務として処理させて頂きました。

新会長のやり方は、従来の県仏のあり方と少し違うかもしれませんが、ご指導のほどお願い致します。まず、四月からの県仏事業計画と予算書を県下の寺院・住職にお知らせいたします。(二面を御覧下さい。尚、県仏の会則と役員表は紙面の都合上次号に載せたいと思います。)

会長からのお願い

皆様には、県仏への一層の御指導・御協力を御願い申し上げます。

県内寺院のご仲職様

県内仏教寺院実態調査に御協力下さい

新しい年度を迎え、各位には益々ご健勝にて、懐信徒教化に御精進のこととお慶び申し上げます。

さて昨年十二月に新潟県仏教会の臨時理事会が開かれ、愚僧が新会長に就任いたしました。浅学無才な者ゆえ、皆様の御指導・御協力を戴きながら、刻めていかなければなりません。なにとぞ宜しく御願い申し上げます。

ところで就任いたしましたものの、県内にある市町村仏教会の実態が、私にはよく分かりません。最近の市町村合併により、市町村の数や有様が一変いたしました。これは、市町村仏教会の連合体とも言うべき県仏教会にとっては、由々しき事態です。

今迄でさえ、県仏に加盟なさっていない市町村仏教会がありましたのに、市町村数減少によって受ける影響は多大なものがあります。これからの県仏は、新市町村仏教会に対応していくことは勿論、未加入仏教会に働きかけて、「みんなの為の県仏」になつていく必要があります。それでまず、県内の仏教会や各寺院の実態がどうなのかを、

お忙しいところ真に恐縮でございますが、次の質問にお答え下さいませよう。合掌お願い申し上げます。為になる県仏を目指して、必要な改革を行い、活動内容を充実させていきたいと念願いたしておりますので、なにとぞ御協力くださいませ。(1) 貴寺のご住職名をお聞かせ下さい。(2) ご住職は、貴寺に住んでいらっしゃるでしょうか。(3) 住んでいらっしゃる場合、連絡先を教えてくださいませんか。

(4) 貴寺の所属市町村に、仏教会はありますか。

(5) 仏教会がある場合、仏教会長様のお名前と寺院名を教えてくださいませんか。

(6) 仏教会が無い場合、今後に結成する動きなどないでしょうか。

(7) 行政や社会との関係で、困りの事はありませんか。

(8) その他、何の情報でもお寄せください。

返信用封筒を同封致したので、今の県仏の会計から捻出することは極めて困難です。そこで愚僧ですが、各々切手代等ご負担いただき、ご返信下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

平成二十一年七月吉日

新潟県仏教会会長 加藤朝雄

合掌



お通夜・ご葬儀会場に…。

さつき会館 さつきホール

株式会社くみあい企画

●24時間常時受付。迅速対応します。

新潟市秋葉区新津東町1丁目318番地1

TEL 0250(24)0983

寺院用仏具・仏壇・製造修復販売



放光

本社・工場 〒940-0825 長岡市高畑町617

TEL 0250-33-5544 FAX 0250-174175

新潟店 〒950-0341 新潟市中央区女池2-2-11

TEL 025-289-1550

川越店・高崎営業所・長野営業所

新潟県仏教会 平成二十一年度事業計画

(平成二十一年四月一日～平成二十二年三月三十一日)

- 四月十一日 新潟仏教会主催・秋葉山平和塔在まつり法要に参加(この平和塔は、インドより新潟県民に贈られた仏舍利が奉安されている仏舍利塔です) 県仏関係者は五人出席
- 五月二十日 人権・同和センタ―総会(於 新潟自治会館)に会長出席
- 五月二十二日 平成二十一年度 第二回新潟県仏教会を開催(於 仏大寺) 十八人出席
- 一、平成二十年度 事業報告と決算報告
- 二、平成二十一年度 事業計画と予算について
- 三、県仏の別途会計について
- 四、県仏の活動について
- 五、全仏への協力と全仏関係団体への協力について
- 六、時間切れで決めかねたことは、執行部一任
- 五月二十九日 全仏理事会「」欠席
- 六月一日 県仏三役並びに事務局員会議(於 広大寺)を開催 七人出席
- 七月一・二日 都道府県仏教会代表者会議(於 日寛)に会長が参加
- 八月下旬 本年度第二回新潟県仏教会並びに勉強会を開催予定
- 九月八日 新潟市仏教連合会公開講座(於 県民会館) 山下泰裕氏講演会「スゴいツと人生」を後援
- 十二月四日・十日「いのち・愛・人権」上越展を共催
- 一月下旬 全仏理事会 会長が参加予定
- 二月上旬 本年度第三回新潟県仏教会並びに新年会を開催予定
- 三月下旬 全仏・人権担当者会議に担当者が出席予定
- その他の活動予定
- 一、一年に二回以上、「県仏通信」を発行・配布する
- 二、ホームページを作り、必要に応じてページを書き換える
- 三、仏教スクールを開講、勉強会・講演会・意見交換会を開く
- 四、合併後の市町村に合わせた「市町村仏教会」を編成する運動をする
- 五、県仏会員を増やす運動をする

平成21年度新潟県仏教会予算書 平成21年6月1日

[歳入総額] 700,000円 [歳出総額] 700,000円

差し引き残高 0円

【歳入】

△は減を示す(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 (増減)	備 考
1 繰越金	68,411	53,575	14,836	前年度より
2 会費収入	300,000	400,000	△ 100,000	
3 寄付金	300,000	0	300,000	
4 新入会費	0	10,000	△ 10,000	未収会費
5 雑収入	31,589	36,425	△ 4,836	
6 雑入金	0	300,000	△ 300,000	別会計より
合 計	700,000	800,000	△ 100,000	

【歳出】

△は減を示す(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 (増減)	備 考
1 事務経費	70,000	107,000	△ 37,000	
2 旅 費	100,000	50,000	50,000	交通費等
3 会議費	100,000	150,000	△ 50,000	
4 事業費	15,000	15,000	0	
5 負担金	260,000	260,000	0	全仏へ
6 研修費	50,000	30,000	20,000	
7 予備費	105,000	188,000	△ 83,000	
合 計	700,000	800,000	△ 100,000	

残したい、心の遺産。

■全日本宗教用具協同組合加盟店 ■日製仏壇協同組合加盟店 ■全国仏教書研究委員会 ■日本石材産業協会会員
 ■伝統工芸士 ■一級木造技能士 ■一級石造技能士 ■土木施工管理技士 ■一級お墓ディレクター在籍 ■仏事コーディネーター在籍



福宝

白根店 Tel. 025-362-1657
 新潟店 Tel. 0254-26-3455
 新潟店 Tel. 025-275-7712
 佐渡店 Tel. 0259-63-4588
 五泉店 Tel. 0250-43-5500
 西三葉店 Tel. 0256-61-5757

柏崎店 Tel. 0257-32-2511
 南魚沼店 Tel. 025-781-6550
 上越店 Tel. 025-522-8600
 糸魚川店 Tel. 025-552-2916
 仏壇工場 Tel. 025-362-1666
 石材工場 Tel. 025-362-3434



全仏だより



第41回全日本仏教徒会議栃木大会の開催概要決定

全日本仏教会では、全一仏教運動の実現のために2～3年に1度、全日本仏教徒会議を都道府県仏教会と共催し、加盟団体及び地域社会との意思疎通を図るとともに仏法興隆を促進致しております。

前回大会「第40回全日本仏教徒会議神奈川大会」は、平成19年11月19日・20日にパシフィコ横浜にて開催いたしました。

この度、第41回全日本仏教徒会議栃木大会の開催概要をお知らせいたします。参加方法等の詳細は後日加盟団体宛にお知らせいたします。

日 時 平成22年11月9日(火)・11月10日(水)

会 場 第1日 宇都宮グランドホテル

基調講演・シンポジウム・加盟団体代表者会議等

第2日 宇都宮市文化会館(大ホール)

記念式典・記念講演等

賛助会員募集について

全日本仏教会は、伝統仏教界の活動や今後社会に於いて果たすべき役割を広く一般の皆様にご理解、ご協力頂く為に、賛助会員を募っております。

皆様方には、賛助会員制度の主旨をご理解いただきまして、賛助会員の勧誘にご協力賜りますようお願い申し上げます。

※ 本会ホームページから、賛助会員要綱が閲覧できます。また申込書などプリントアウトできます。ご覧いただきまして、是非ともご入会いただきたく、宜しくお願い致します。

救援基金へのご協力のお願い

全日本仏教会では、国内外における災害救援や人道的支援に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を開設しております。

加盟団体・各御寺院・檀信徒・門信徒の皆様のご協力をお願い申し上げます。

救援金の送付は下記の要領でお願いいたします。

記

【郵便振替】

口座番号：00110-9-704834

口座名義：全日本仏教会救援基金

【銀行振込】

中央三井信託銀行 本店営業部

口座番号：(普通) 0973031

口座名義：財団法人 全日本仏教会

※ 第41回全日本仏教徒会議、賛助会員、救援活動及び基金の寄託先に関しましては、ホームページ及び機関誌「全仏」上にて順次報告・公開を行っております。



財団法人 全日本仏教会

JBF WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

〒105-0011

東京都港区芝公園4-7-4 明和会館2F

電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260

http://www.jbf.ne.jp/

E-mail info@jbf.ne.jp

全国最高賞に輝く

www.yoshiundo.co.jp



YOSHIUNDO

吉 運 堂

寺院用具 | お仏壇 | 墓石

新潟県で
No.1 22店舗ネットワーク
専門資格保有数160

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138代

県内市町村仏教会より

今回は特にありません。県内通信にはこの欄を設けますので、各市町村仏教会からの投稿を募ります。

この他に、会員からの投稿欄、寺僧関係諸問題の事例と対策質問コーナー等も設けたいと思いますので、懇請してご応募ください。



読者に伝える

「暮らひの中の仏教語」

△識 別 △識別△

世は情報過多時代に入りまし、私達は、好むと好まざるとにかかわらず、溢れる情報にさらされています。新聞・雑誌・ラジオ・テレビは、毎日いろんな情報を送り込んできます。街に出れば、大きな看板(看板や呼び込み)に出会います。パソコンやケータイ電話の普及、インターネットの広がり、いろんな情報を即座に授受することも当たり前になりました。しかも、入ってくる情報は様々で、誤解

や詐欺まがいのものまで含んでいることを否認しません。

さて、皆様はリテラシーという語をご存じでしょうか。

「リテラシー」という英語は、本来読み書き能力の事です。しかし、これがメディア・リテラシーとなると、メディアの特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達し、あるいは、メディアを流れる情報を取捨選択して活用する能力のこと

となります。最近、宗教団体による戸別訪問やメディア利用の勧誘も活発となり、宗教リテラシーという言葉も出来ました。勧誘活動に熱をこめる、暴力団や詐欺団まがいの宗教団体も彼を絶ちません。

昔は情報量が少なかったため、リテラシーはあまり問題化しませんでした。が、仏教では問題にしてみました。それは識別という能力です。識別の働きのするものを「識」と言い、識の対象となつて別々に振り分けられるものを「別」と言います。つまり識別とは、情報を取捨選択すること、即ちリテラシーのこと

に他なりません。これから益々、リテラシーの必要な時代となりましょう。方私達凡人には、あまり識別能力がありません。とにかく、識別しかねるほどの情報量や有害

情報を、取り入れないことです。情報に翻弄されて、とんでもないものを掴まされることのないよう心したいものです。未熟な子供や情報弱者に、識別不可能な情報を与えない工夫も必要でしょう。

《ドナー だんな》

内蔵移植手術で臓器提供者のことをドナーと言うことは皆様ご存じでしょう。半身体関係にもドナーと呼ばれる物質がありますね。このドナーという言葉はもちろん英語のdonorからきております。

ところで、「ドナー」と「だんな」が同じ語源を持つということ、ご存じだったでしょうか。donor・donateはインド語のダーナ(dāna)から来るもので、寄付者の意です。「だんな」も、漢字では旦那とか檀那と書き添えてきたインド語のダーナです。ということ、だんな「ドナー」ということになるでしょう。

ドナーは新しい日本語のように受け取られていますが、だんな(檀那・旦那)は古来親しまれてきた「日本語」ですね。勿論「だんな」は御布施をする人のことで、言い換えれば寄付者のことになりましょう。国語辞典で「だんな」の項目

を見ると、実にたくさん使用例が載っております。いまここで一々を述べることはできませんが、とにかく、ドナーもだんなも布施も寄付も同じ意味を持つていことを、知って戴ければ幸いです。

また仏教では、三輪清浄と申しまして、本當のドナーやだんなであるための教えが説かれております。①やうた行為に拘らない(能施)②やうた相手に拘らない(所施)③やうたものに拘らない(施物)というのがそれです。

ややもすると、私達はやうた相手や物事をよく覚えていて、つい恩に着せてしまいがちです。自分の妻らなくなつたものを人に呉れて、あとで恩に着せる方をよく見かけますが、実は貰つた方も始末に困つていたなんてことは珍しくありません。注意致しましょう。

更に、たとえ相手に役立つものであつても、呉れてやるのではなく受け取つて戴くという気持ちで、感謝しながら布施行を積み上げていきたいものと思つている次第です。受け取つてくださる相手があるということは、なんと幸せなことか！もし受け取りを拒否されたときのことを想像すれば、直ぐに解るといふものではないでしょうか。



白根市白根町白根の日出町10-8
TEL 0253-373-4156 FAX 373-4157
営業時間 AM9:00~PM5:00

白根本店・タワービル店

新発田店/新発田市城北町2丁目9-18 TEL(0254)22-1029
長岡店/長岡市古正寺字新田637-1 TEL(0258)29-6409
小針店/新潟市西区小針4丁目5-13 TEL(025)239-2135
竹尾店/新潟市東区はなみずき2丁目9-22 TEL(025)279-1237
阿賀野店/阿賀野市庄ノ宮652-17 TEL(0250)62-8890
三条店/三条市上通81-1 TEL(0256)47-6767
五泉店/五泉市栄島634-4 TEL(0256)47-3668

■下記店舗名義にて承ります。お電話にて承取下さい。



仏壇・墓石・神輿

信州信具の総合メーカー
株式会社

☎ 0120-00-1930 本社/長岡市寺島町817

ホームページ <http://www.to-a.co.jp>

長岡寺島店 長岡中央店 新潟竹尾店 上 越 店
南 魚 沼 店 中之島工場 石材工場 長岡駅店(生花)